

政務活動費出金票

2

出金日	令和1年5月20日	
項目	研修費	
摘要	多摩住民自治研究所セミナー（西国分寺）	
金額	59,900 円	
支出内訳	視察・研修費 受講料 26,000円 宿泊費 6,840円 交通費 24,360円 テキスト代 2,700円 計 59,900円	
他会派（自民党議員会、公明党）と合同視察（計3名）		
領収書	別紙	

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成

承認	会派会長印	経理責任者印

令和元年5月20日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 しおかぜ

議員氏名 石崎 一成 

以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	5月20日、5月21日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	東京都西国分寺
参加者名	石崎一成
目的	NPO法人多摩住民自治研究所 よくわかる市町村財政分析基礎講座受講の為
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、収支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

金派名

しおかぜ

金額

59,900 円

(1人あたり)

59,900 円)

用務	よくわかる市町村財政分析基礎講座の受講				
旅行先	東京都西国分寺				
旅行期間	令和元年5月20日～令和元年5月21日(1泊2日)				
種別	区間	乗車料金	急行料金	特別車料金	合計
鉄道賃	自 黒部宇奈月温泉駅 至 西国分寺駅	6,260 円	5,920 円		円
	自 西国分寺駅 至 黒部宇奈月温泉駅	6,260 円	5,920 円		24,360 円
	自 駅 至 駅	円	円		円
	自 駅 至 駅	円	円		円
	自 駅 至 駅	円	円		円
車賃	区間	借り上げ料金	燃料費	高速料金	合計
宿泊料	1泊分				6,840 円
その他(駐車料金等)	(内訳) セミナー受講料26,000円、テキスト2,700円				28,700 円
備考					
合計					

旅行議員氏名 石崎 一成

承認印	
会派会長	經理責任者
	

領 収 証

しあかせ

様 No. 485

★

7 6880

内 訳	但
現 金	
小切手	
手 形	
クレジットカード ()	
税 金 領	
消 費 税 領 等 (%)	

御宿泊代として

2019年5月20日 上記正に領収いたしました。

収入印紙

立川アーバンホテル

〒190-0022 東京都立川市錦町1-2-16
TEL042-540-1200 FAX042-540-1122

担当

領 収 書 しあかせ 様

領収年月日 2019.5.14

金額 ￥24,360-

上記金額確かに領収いたしました。

購入内容 JR乗車券類発行

原券番号 -00001

あいの風とやま鉄道株式会社

魚津駅発行 75-09110

印紙税申告納付につき富山
税務署承認済

領 収 証

様 No.

★ ¥2,700

但し財政分析基礎講座受講料として
2019年5月20日 上記正に領収いたしました

内 訳

被扶養人

消費税額等(%)

NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

支票番号: 1097

領 収 証

NO.20190520-5-1

石崎 一成 様

¥26,000-

但し 財政分析基礎講座受講料として

2019年5月20日 上記正に領収いたしました

NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

研修報告書

NPO法人多摩住民自治研究所

よくわかる市町村財政分析(再履修)

提出者:石崎一成

受講日:令和元年5月20日から5月21日

受講地:東京都国分寺市

平成30年4月25日から26日にかけて、同講義を一度履修した。その際には財政状況資料集と決算カードの連続的な統計の取り方や着目点について学んだ。しかしながら、講義の内容と範囲が多岐にわたっており一度の履修では押さえ切れなかったポイントや考え方、専門用語などが理解できず解釈が出来なかつたところが多かった。今回はそういう点のおさらいを含め、更には交付金算定書などに関わる部分などについても視点を増やしてみたいことから受講することとした。

財政状況を比較するには①「ひとつの自治体の経年的な統計をもとに行う比較」と、②「類似団体を抽出して比較」という2種類の方法がある。②の類似団体とは総務省が提供している決算カードや財政状況資料集の項目にある「類型」により同一に分類されたものを比較するか、同じく総務省が提示している「類団カード」を用いる方法がある。メリットとしては人口規模や財政規模、産業構造などで類似したものを比較するので、比較団体の地理的条件や重点箇所が見えやすく、特徴的な運営をとらえやすい点である。また、基金積立てや公債費の管理なども連続的に統計することで比較が可能になってくる。

今回の受講をもとに魚津市の財政状況資料の統計を試みた。財政状況資料および決算カードは平成21年度から収集することができたが、平成25年以前は簡素なものであり、その後は資料項目の算出方法や記載方法が変更がなされており、全くの同項目では直近5年間が比較可能であった。大枠で言うと、

- ①類似団体と比較しても歳入面においては比較的安定している。
 - ②歳出面では公債費がやや高めで推移している。
 - ③地方創生事業の開始年度からの財政調整基金繰り出しが多い。
 - ④全国的な状況もあるが扶助費が大きく伸びている。
 - ⑤物件費の伸びが大きく、アウトソーシングが負担増の傾向にある。
- といった感じである。

財政分析の必要性はまちの構造や流れを知る上でも重要である。都心のように人やモノが集まれば自ずと産業・商業も増大するが、少子高齢化とIT化の時代において地方団体は若年層や商業流出過多になりがちである。社会保障制度や自治体運営のモデルになった人口構造や経済構造から外れれば行財政は危うくなるので、バランスを保つための事業に注力を注がなくてはいけない。

国内全域で移住定住や関係人口増加などの事業やSDGs施策が言われているが、確実に椅子の足りない椅子取りゲームをするのではなく、戦わずして勝てる魚津市の勝負所を探ることも必要なもの

ではないかと考える。内閣府ではRESASという地域分析システムをオープンデータとして公開しており、そういうツールも活用しながら様々な視点から財政分析の活用や市政に対する関わりを進めていきたいと考える。

政務活動費出金票

3

出金日	令和1年7月30日
項目	研修費
摘要	令和元年度会費
金額	10,000 円
支出内訳	早月川・角川地区開発促進協議会 年会費 10,000円
領収書	

領 収 書

しあがせ

浜田 泰友 殿

金 10,000 円

但し、令和 元 年度早月川・角川地区開発促進協議会負担金として

令和 元 年 7 月 30 日

早月川・角川地区開発促進協議会
会長 浜田 泰友

本紙に收まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印

政務活動費出金票

4

出金日	令和1年8月22日
項目	研修費
摘要	令和元年度会費
金額	6,000 円
支出内訳	日中友好富山県地方議員連盟 年会費 3,000円×2
領収書	別紙

本紙に收まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成
浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印
		

領 収 書

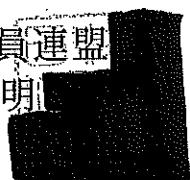
¥ 3,000 -

ただし、令和元年度日中友好富山県地方議員連盟会費
として

令和元年8月22日

しおかせ
魚津市議會議員
浜田 泰友 殿

日中友好富山県地方議員連盟
会長 宮本 光明



領 収 書

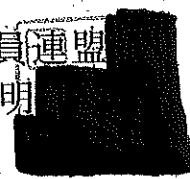
¥ 3,000 -

ただし、令和元年度日中友好富山県地方議員連盟会費
として

令和元年8月22日

しおかせ
魚津市議會議員
石崎 一成 殿

日中友好富山県地方議員連盟
会長 宮本 光明



政務活動費出金票

5

出金日	令和1年8月27日
項目	研修費
摘要	令和元年度会費
金額	4,000 円
支出内訳	富山県日台友好議員連盟 年会費 2,000円×2
領収書	別紙

本紙に收まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成
浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印

領 収 書

¥2,000.-

ただし、令和元年度富山県日台友好議員連盟会費
として

令和元年8月27日

（おやせ）
浜田 泰友 殿

富山県日台友好議員連盟

会長 中川 忠昭

領 収 書

¥2,000.-

ただし、令和元年度富山県日台友好議員連盟会費
として

令和元年8月27日

（おやせ）
石崎 一成 殿

富山県日台友好議員連盟

会長 中川 忠昭

政務活動費出金票

6

出金日	令和1年9月30日
項目	研修費
摘要	令和元年度会費
金額	4,000 円
支出内訳	富山県日韓友好議員連盟 年会費 2,000円×2
領収書	別紙

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成
浜田泰友

会派会長印		経理責任者印
承認		

領 収 書

¥ 2,000 -

ただし、令和元年度富山県日韓友好議員連盟会費
として

令和元年9月30日

しおかせ
浜田 泰友 殿

富山県日韓友好議員連盟会長

領 収 書

¥ 2,000 -

ただし、令和元年度富山県日韓友好議員連盟会費
として

令和元年9月30日

しおかせ
石崎 一成 殿

富山県日韓友好議員連盟会長

政務活動費出金票

7

出金日	令和1年9月30日
項目	研修費
摘要	令和元年度会費
金額	4,000 円
支出内訳	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議会議員連盟 年会費 2,000円×2
領収書	別紙

本紙に取まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成
浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印

領 収 書

￥2,000-

ただし、令和元年度北朝鮮に拉致された日本人を早期
に救出する富山県地方議員連盟会費として
富山県市議会議長会を通して受け取りました

令和元年9月30日

しおやせ
浜田 泰友 殿

北朝鮮に拉致された日本人を早期
救出する富山県地方議員連盟会長

領 収 書

￥2,000-

ただし、令和元年度北朝鮮に拉致された日本人を早期
に救出する富山県地方議員連盟会費として
富山県市議会議長会を通して受け取りました

令和元年9月30日

しおやせ
石崎 一成 殿

北朝鮮に拉致された日本人を早期
救出する富山県地方議員連盟会長

政務活動費出金票

9

出金日	令和1年10月24日	
項目	研修費	
摘要	TRCセミナー、阿倍野防災センター（大阪府）	
金額	38,200 円	
支出内訳	視察・研修費 受講料 2日分 10,000円 宿泊費 7,700円 交通費 (J R) 19,480円 交通費 (大阪メトロ) 1,020円 計 38,200円	
	他会派（公明党）と合同視察（計2名）	
領収書	別紙	

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印

令和元年 10月 28日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 しおかぜ

議員氏名 浜田 泰友



以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	10月24日～10月25日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	大阪府吹田市、大阪市
参加者名	浜田泰友
目的	TRCセミナーの受講、 大阪市立阿倍野防災センターの視察のため
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、收支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

会派名

しおかぜ

金額

38,200 円

(1人あたり)

38,200 円)

用務	TRCセミナーの受講、大阪市立阿倍野防災センターの視察				
旅行先	大阪府吹田市、大阪市				
旅行期間	令和元年10月24日～令和元年10月25日(1泊 2日)				
種別	区間	乗車料金	急行料金	特別車料金	合計
鉄道賃	自 魚津 駅 至 新大阪 駅	12,980 円	円	6,500 円	19,480 円
	自 新大阪 駅 至 江坂 駅	360 円	円	円	360 円
	自 江坂 駅 至 天王寺 駅	660 円	円	円	660 円
	自 駅 至 駅	円	円	円	円
	自 駅 至 駅	円	円	円	円
車 賃	区間	借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
宿泊料			1泊分		7,700 円
その他(駐車料金等)	(内訳) セミナー受講料5,000円×2日				10,000 円
備考	鉄道賃の区間は往復。魚津-金沢間はあいの風ライナー乗車(指定席往復600円)				
合計					38,200 円

旅行議員氏名 浜田 泰友

承認印	
会派会長	経理責任者

領 収 書

渋田
しおかぜ 様

金 5,000 円 (消費税込み)

但し、セミナー参加費として
(政策実現への財政議論～年間サイクルで押さえる予算・財政議論のツボ
令和元年 10月 24日開催)

令和元年 10月 24日

株式会社図書館総合研究所
東京都文京区本郷二丁目 1番 1号
代表取締役社長 左藤 達生

No.1910-309

領 収 書

渋田
しおかぜ 様

金 5,000 円 (消費税込み)

但し、セミナー参加費として
(公共施設更新問題への対応はどこまで進んだか～「时限爆弾」を止めるために、いま、なすべきこと
令和元年 10月 25日開催)

令和元年 10月 25日

株式会社図書館総合研究所
東京都文京区本郷二丁目 1番 1号
代表取締役社長 左藤 達生

領 収 書

再 発 行 (1)

発行 No.1903391303

表示日: 2019年10月4日

下記、宿泊施設を代理して正に領収いたしました。

宛名

しおかぜ 様

金額

¥ 7,700-(税込・サ込)

(※但し、宿泊代金として(クレジットカード決済))

予約番号

0EGH5EMP

ご利用施設

スーパーホテル御堂筋線・江坂
(じやらんnet)

宿泊日

2019年10月24日より 1泊

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

※発行後に予約変更、キャンセルされた場合、本領収書は無効になります。

SB Payment Service

SBペイメントサービス株式会社

〒105-8025
東京都港区東新橋1丁目9番2号
汐留タワー25階

ご 利 用 明 細 書

発行 No.1903391303

表示日: 2019年10月4日

宿泊内容

宿泊日	予約番号	施設名	人数	室数	泊数
2019年10月24日(木)	0EGH5EMP	スーパーホテル御堂筋線・江坂	1	1	1

宿泊代表者氏名

浜田 泰友 様

領 収 書 けいしゆ 様

領収年月日 2019.10.18

金額 ￥19,480-

上記金額確かに領収いたしました。

購入内容

原券番号 -00001 印紙税申告納付につき富山

あいの風とやま鉄道株式会社

魚津駅発行 75-10932 税務署承認済

支 払 証 明 書

金 1,020 円

上記の金額を支払ったので届け出ます。

令和元年 10月28日

会派名 しおかぜ

氏名 浜田 泰友



支払先	大阪メトロ
領収書が発行 されない理由	視察先への移動で大阪メトロ新大阪駅から江坂駅、 江坂駅から天王寺駅まで往復利用したため。 運賃 (180円+330円) × 2 (往復分) = 1,020円

上記のとおり相違ないことを証明します。

経理責任者氏名

石崎 一成



視察・研修報告書

日 時： 令和元年10月24日（木）～10月25日（金）2日間
視察先： TRCセミナーの受講（大阪府吹田市）
大阪市立阿倍野防災センターの視察（大阪府大阪市）
参加者： 中瀬淑美（公明党）、浜田泰友（しおかぜ）
計2名
報告者： 浜田泰友

1. TRCセミナーの受講（大阪府吹田市）

政策実現への財政議論～年間サイクルで押さえる予算・財政議論のツボ～
(稻沢克祐・関西学院大学専門職大学院経営戦略科教授)

予算審議での質問を確認するのが決算審査の場。予算と決算の審査は一体である。
12月、1月に総務省財政課長のお知らせ文書が来る。国のマクロの予算、県・市の
予算編成にあたっての留意点が書かれている。

ヒト：人口減少、高齢社会。

モノ：道路、橋、施設の老朽化。余剰問題、不足問題。子どもの施設が余り、高齢者施設が不足。合築複合化が必須。国と地方財政対策、今は安定している。財政問題よりも老朽化対策は今が重要。優先度の問題。

カネ：市町村どこもが減収。交付税があるが留保財源で自治体格差が生じていく。
全国の自治体押しなべて歳出硬直、経常収支比率の全国平均は93%、成熟社会で作
るから使うになった。

平成の改革は①分権改革、②経営改革（効率化、市場化）、③構造改革。

①と②を掛け合わせたため、自治体が改革に負のイメージを持った。分権に効率化
を合わせて9兆円がカットされた。

予算の意義。財政民主主義。租税や公債など負担を負わせる行為は議会の議決を通
じて市民の承認を得る。歳入歳出は予算として議会の承認を得なければならない。歳
入歳出の結果は決算として議会の承認を得なければならない。

総額の規律維持。減額修正は当然の権利。財政規律を守らせる。最適化、バランス。
中期的配分、3年5年経つと大きな予算になるもの、本当に良いか。世代間負担や將
來負担について。

予算と決算の連続。決算の結果を見て予算を審議すべきもの。例）実質収支マイナ
ス、経常収支悪化の決算で新年度予算に対策しなくて良いのか。予算編成の結果、ど
のような見込みかを確認する。

決算審査。小松市では全議員で全事務事業をチェック、改善提案を出す。すぐには
動かないが、2～3年やって、やっと動くときもある。

予算を動かすには、9月議会の決算での質問、12月議会で確認。3月は予算の調整が終わった予算書という成果物。3月では遅い。

予算。目的が達成されたか。予算質疑からの対応はどうか。付帯決議への対応はどうか。

住民視点。夕張のようにならないか。赤字か。負債大きいか。財務書類の説明を。難しいのでコンパクトに話すように。民間に置き換えて話す。

木→枝→葉の順に見る。全体の規模（木）、構成（枝）は議員の共通認識として持つように。

執行状況について。歳入の不納欠損。回収に努めているところは不納欠損も大きい。指定管理者について。モニタリングを。任せきりにならないか。自治体職員のノウハウが残らない。事故の際は市が100%の責任を持つことに。四日市市、板橋区ではモニタリングレポートを議会に出している。

国の地方財政。地方財政対策の概要が12月下旬に出る。地方財政の見通し・予算編成上の留意事項（旧財政課長内かん）は1月下旬に出る。ざっと目を通しておくこと。

予算査定と審議の視点。単独か補助か。維持補修に国庫補助はない。将来負担をチェックすること。補助事業は1件認めると他にも影響することが。

議会基本条例で新規事業にあたり説明資料を必ず出させるよう定めている自治体がある。（所沢市、福島町）

施設の建設について。施設の新設、必要はほとんどない。それでも必要なのかどうかしっかりと説明させる。他の施設で代替できないか、ソフト事業で目的達成できなかいか。

外部化。委託はモニタリングを重視。事故があった場合の継続性。行政が代替できるくらいに内容を把握しておく。A.I.、R.P.Aなど、ノウハウを持ったうえでやらないと漏れがあってもわからなくなる。

2. TRCセミナーの受講（大阪府吹田市）

公共施設更新問題への対応はどこまで進んだか～時限爆弾を止めるために、いま、なすべきこと～

（南学・東洋大学客員教授）

H21藤沢市、習志野市で公共施設白書を発行。各部署でバラバラに持つデータを統合した。

H26総務省、総合管理計画作成の要請。ほとんどの自治体で面積縮減の目標立てをしたが、そのほとんどが達成できず。各論でうまくいかない。庁舎新築などでは逆に面積増になることも。

面積縮減は実現が難しい。物理的に縮小を考えてしまう。そうではなく、機能統合を考えることで縮減につながる。例えば、学校を活用してみようというプロジェクト。夕方以降や土日空いている。地域の中心にある。活用できるなら、公民館や図書館が

いらないかも。

個別施設計画の問題点。インフラ長寿命化計画（国）各省庁、自治体に行動計画、個別施設計画、道路、河川、学校など。国とは違い、自治体は総合的に考えないといけなかった。個別に有効な計画を作るのは難しい。公共施設等適正管理推進事業債は個別施設計画が要件。しかし、あせって公共施設投資をしてしまうと将来50年にわたって影響が出る。多機能集約型の個別計画をいくつかマネジメント担当課で作るしかない。それぞれの担当課に計画を出せというと単機能の個別計画がそれぞれ出されてしまう。

イギリスの例。学校は民間が建ててリース方式。教育委員会は8割分の賃料を払う。放課後、土日、夏休みに教室以外のグラウンド、体育館、音楽室などを貸し出し。残りの2割以上を稼ぐ。

この近年で起ったこと。2006年、ふじみ野市大井プール、小2死亡。プール管理は民間事業者だが、市の担当職員が業務上過失致死傷罪で禁固刑。その係長は懲戒免職となり、退職金も出なくなった。判決文では、施設の管理者は不備があれば修繕するか、されない限り開設すべきではないという判断をすべきとある。

公共施設の包括保守点検委託。安全管理での有効性。数百の契約コストの節約にも。

鹿屋市の事例。子育て専用賃貸住宅を国庫補助をもらって民間に建てさせた。カウンターキッチンがあり、近くにコインランドリーや学童保育所が所在している。

行政サービスのポートフォリオを考える。限定された財源を何を組み合わせて何に使うのか。

複合化、多機能化の必要性。稼働率で見ているが、延べ人数ではなく実人数は。同じ人が繰り返し使っていないか。実人数でカウントしたら、十分の一以下ではないか。

庁舎建設にあたって、数十年後の庁舎はどうなっているか。電子化で窓口業務なくなっているかも。在宅勤務が進んで、来なくてよくなるかも。専用施設（行政事務、教育、福祉、インフラ）はコンパクト化と一部転用。交流汎用施設（図書館、公民館、文化、スポーツ）は複合化、多機能化。

魅力ある施設の第一歩は飲食OK。飲食などの規制緩和を。（参考事例：大和市シリウス、武藏野市ガーデンプレイス）「快適な滞在空間の演出」を考える。今までの公共施設では考えられていない。自分のまちの公共施設で人がにぎわっているか。避難所で小さな子どもがいても配慮されていない事例も。

日本型実質BOT方式。コア（維持管理委託）+汎用施設（民間・指定管理）。

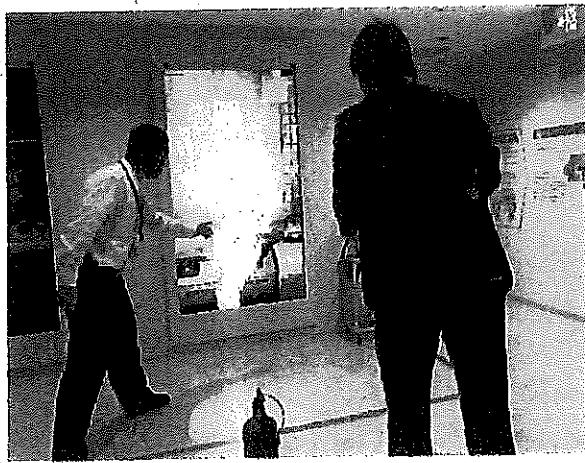
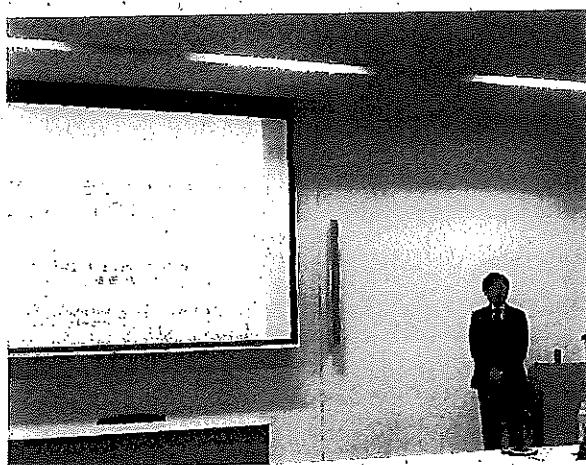
3. 大阪市立阿倍野防災センターの視察（大阪府大阪市）
体験型防災学習施設あべのタスカル
(浅見典昭・大阪消防振興協会 企画広報係長)
- 阪神大震災の後、南海・東南海地震に備えるための防災学習施設。東日本大震災を受けて、津波に備えるための機能を追加するリニューアルを行った。
- 小中学生や社会人向けの体験コース（1時間）が用意されている。無料。予約はこの時期いっぱいだが、市内の方を優先している。
- 市内の居住地の成り立ち、水害の備えを学ぶマップがモニターに掲示されている。救護を学ぶ研修室、震度7体験装置、消火体験などがある。地震後の街並みを再現し、危険個所での救助体験、要援護者の車いすの介助体験、津波避難体験などもある。

4. 考察

セミナーを受けて、本市議会では議選の監査を止める議論をしている旨を伝え、アドバイスを求めた。決算委を常任委員会とし、決算審査を全員で行うこと。財務数値を全員でチェックしておくこと（共有認識を持つ）。決算の数字は監査がチェックしているので、そこまでは見なくてもよいこと。監査の意見を再度チェックすること。主要な施策の成果報告書を全員でチェックすること。分野別の委員会ごとに事業を決めてチェックしてもよい（飯田市、小松市の事例を参考に）。決算の提言は回答をもらうこと。などのたくさんの助言をいただいた。

本市の公共施設再編はこれからが正念場であり、多機能集約に向けた議論は欠かせない。しかし、それぞれの担当課に任せていると、多機能にも集約化にもつながらないものが出がちになるとの話があった。多機能集約ができるできないの話ではなく、どんな可能性があるのか、市全体から俯瞰した議論をしなくてはならない。人がにぎわう施設にするためにも、このような講義の内容を地元でも伝えていかないといけないと感じた。

阿倍野防災センターでは体験型防災学習施設というだけあり、様々な防災体験ができた。しかし、単独の小規模自治体ではこのような大掛かりなものを整備するのは現実的ではない。県などの防災施設と連携し、市民がより多くの防災体験ができるよう取り計らうことが必要だと思う。



政務活動費出金票

10

出金日	令和1年11月6日		
項目	研修費		
摘要	自治政策講座（横浜市）		
金額	89,720 円		
支出内訳	視察・研修費 受講料 2名分 40,000円 交通費 2名分 49,720円 計 89,720円		
	他会派（公明党）と合同視察（計3名）		
領収書	別紙		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印

令和元年 11月 7日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 しおかぜ

議員氏名 浜田 泰友



以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	11月6日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	神奈川県横浜市
参加者名	浜田泰友、石崎一成
目的	第21期自治政策講座 in 横浜Ⅱの受講のため
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、收支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

会派名

しおかぜ

金額

89,720 円

(1人あたり)

44,860 円)

旅行議員氏名 浜田 泰友

石崎 一成

承認印	
会派会長	経理責任者
	

領 収 証

様 No.

★ ￥20,000-

但、第2期自治政策講座 in 横浜受講料として

2019年 11月 6日 上記正に領取いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

収入
印紙

クモ 1097

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン第2オフィス

自治体議会 政策会議
会長 竹 [REDACTED]

領 収 証

様 No.

★ ￥20,000-

但、第2期自治政策講座 in 横浜受講料として

2019年 11月 6日 上記正に領取いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

収入
印紙

クモ 1097

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン第2オフィス

自治体議会 政策会議
会長 竹 [REDACTED]

領 収 書 会派しおんせ 様

領収年月日 2019.11.1

金額 ￥49,720-

(クレジット扱い)

購入内容 JR乗車券類発行

原券番号 -00001

あいの風とやま鉄道株式会社

魚津駅発行 75-11100

印紙税申告納付
につき富山
税務署承認済

視察・研修報告書

日 時： 令和元年 11月 6日（水） 1日間
視察先： 第 21 期自治政策講座 in 横浜Ⅱの受講（神奈川県横浜市）
参加者： 中瀬淑美（公明党）、石崎一成、浜田泰友（しおかぜ）
計 3名
報告者： 浜田泰友

1. 第 21 期自治政策講座 in 横浜Ⅱの受講（神奈川県横浜市）

地域経済分析システム（R E S A S）について

（宇野雄哉・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）

E B P M (Evidence Based Policy Making) 証拠に基づいた政策立案。データ活用が当たり前になってきた。IoT、ビッグデータ、5G、AIなどデータ活用ができる環境が整ってきた。一方、少子高齢化、財政危機、地方消滅などデータ活用をせざるを得ない状況になってきた。

R E S A S はデータ活用の入り口として、地図やグラフで見える化。8マップ81メニューあり、資料の下にどのデータかわかるように出典を表記してある。

人口の自然増減。R 2 > 0. 2 で相関あり。合計特殊出生率との相関分析。

通勤時間：R 2 = 0. 25601 (相関あり)

三世代同居率：R 2 = 0. 011678 (相関なし)

人口の社会増減。高知県の例。高知市、転出超過は県外、転入超過は県内他市町村。土佐清水市、転出超過は県内他市。人口移動は近距離で起きている。従って、近隣で住民を取り合っている状態のため、近隣自治体が一緒に移住キャンペーンなどする必要がある。

産業構造分析。付加価値額トップ、魚津市は生活関連サービス、娯楽業で532億円。どの産業が盛んなのか、データが視覚化される。

F r o m-T o 分析。どこから観光客が来ているか。観光PRをどこに行うかの参考に。

目的地分析。車や公共交通でどこに来ているか。平日・休日で分かれている。魚津市は金太郎温泉、水族館が多い。

類似団体検索。データ分析支援から産業構造が似ている自治体を探すことができる。エビデンスとは。狭義のエビデンス=因果効果を表す（考察）。広義のエビデンス=課題の現状把握のための情報（分析）。相関があつても因果関係はないかも。相関がないと最初の仮説にもならない。相関・因果検証。ランダム化比較試験は検証が難しい。差の差分析は他市との比較、その政策を行っていないものを参考に架空の本市を算出し差し引きする。類似団体検索でグラフがかける。

議会がデータやエビデンスを重視することで、幹部の意識向上。一般職員のデータ分析力アップに。

政策ありきの証拠づくりとしてデータ活用は止めてほしい。

2. 多様な市民との合意形成—政策形成に必要なファシリテーション

(林加代子・(株) ソーシャルアクティ)

RESASのワークショップも担当。美濃加茂市、下呂市。外国人が多いので、外国人向けの外国人案内人の育成など、RESASの観光への活用を行った。

浦添市のパークマネジメント、市民協働のワークショップを行った。

ファシリテーションとは。Facilitate：促進する。引き出す。容易にする。手伝う。

ファシリテーターは進行係だけではなく、能力を引き出し、協働を促進させる。

ワールドカフェ。カフェのようにリラックスして多様なアイディアを結びつける。名古屋市の例。公園の会での交流会。要望大会にならない。「まとめ」をしなくてよい。ネガティブが始まるととことんネガティブになる。ポジティブな話を。

議会報告会は一方的な話になりがち。ぜひワールドカフェを活用してほしい。

進め方は4～5人でグループを組む。ペン、ドリンク、お菓子、模造紙を用意。

ラウンド1（20分）テーマについて話す。

↓一人残して席替え

ラウンド2（20分）アイディアを受粉

↓一人残して席替え

ラウンド3（20分）気づき、発見を統合

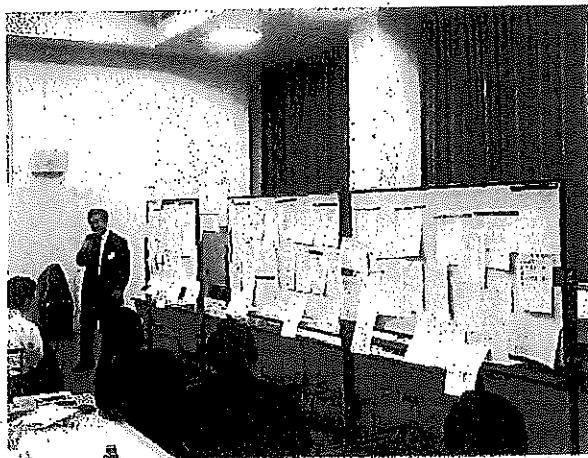
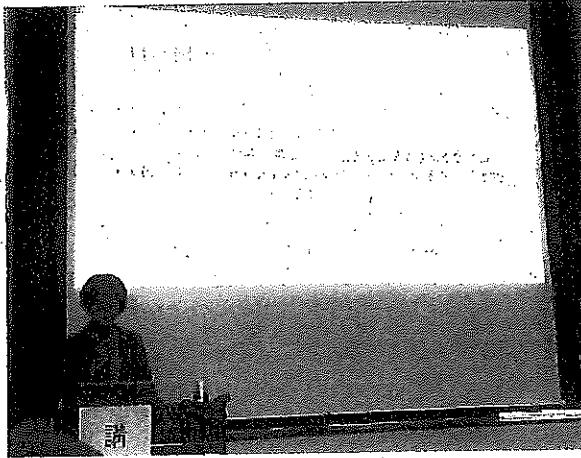
↓

ハーベストタイム 意見を収穫し、共有する

3. 考察

インターネットが普及し、統計のオープンデータが進み、一般人でもデータ活用が手軽に行えるような時代となった。R E S A S が提供されるようになり、地方自治体でも積極的にデータを活用した政策立案ができるようになっている。行政の施策事業においても、必要と思うから実施しているが効果測定ができていないものが多くある。データ活用は効果的に施策事業を行うためにも、また住民に説明責任をはたすためにも役に立つと考える。課題はその活用、分析能力をいかに高めるのかということにある。我々議員もそうだが、当局には若手職員などを中心に積極的にデータを活用した政策論議をしていただきたい。また、R E S A S では国勢調査を基にした5年に1度の古い統計もあるが、民間のビッグデータなど新しいデータも活用されている。市としても積極的にオープンデータに取り組むべきと考える。

ファシリテーションは近年になって取り上げられるようになった、話し合いのスキルである。議会の場はまさに話し合いの場であり、そういうったスキルの向上は議会を挙げて取り組むべきものと考える。特に現在検討課題となっている、議会報告会などを実施する際には住民と議員が実りのある意見交換を行えるように、議会で講師を招いて実践していくことも必要と考える。



研修報告書

提出者：石崎一成

自治体議会政策学会 第21期自治制作講座 in 横浜Ⅱ

「今だからこそ地域の課題解決へ ～自治体の役割と議会」

受講日：令和元年11月6日

◆第1講義 「RESAS（リーサス）」を使いこなして政策立案 ～地域経済活性化に向けて

講師：宇野 雄哉
(内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局ビッグデーターチーム)

◆第2講義 多様な市民との合意形成 ～政策形成に必要なファシリテーション

講師：林 加代子（愛知学泉大学・名古屋工業大学大学院実務型教員）

考察

●RESASは日本の省庁が専門分野における調査によって集積した情報やNTTのような通信情報を取り扱う会社の総合データ、インターネットの検索やGPSの目的地履歴、企業の業績データなどを内閣府のまち・ひと・しごと創生本部が主幹となってデータ化し、オープンデータとして共有することを可能にしているものである。平成27年4月より運用が始まり間もなく5年を迎えるが、国勢調査のように5年毎に行われる調査もあれば市町村の人口データのように短いサイクルで更新されるものや毎年行われてデータが更新される調査もあることから、RESASの情報精度の熟成は5年刻みに進むものと感じた。

現在公開されている情報であっても、毎年総務省が提示している地方自治体の決算カードや財政状況資料集、類似団体カードなどを連続してトレンドの分析をしたものと予備知識として各種情報の積算や類似自治体(人口や産業構造や地理条件など)との比較を行うことで、今後の魚津市のあるべき姿を模索する有効なデータを抽出することが可能であると考える。

重要なのはこれらの統計データは施策や事業にあつたり、災害などの外的要因を受けた事後に結果としてもたらされたものの統計でしかなく、PDCAサイクルを持続的かつ効率的に行うにはデータの受け売りではなく要因と方向性を検証し続ける必要があると考える。

多面的な解釈や柔軟な思考力を高めるために、引き続き多くの人の声に耳を傾けつつ様々な情報収集に努めることとする。

●ファシリテーションとは会議や集会などにおける発言や意欲的な参加を促し、内容の総論をまとめたり方向性を調整するリーダーシップの事である。議論の場において、いきなり深層部に入り込んだ意見は生まれ難いが参加者のちょっとした一言がキーワードとなり、色々な人が意見を述べて総論を導く重要な線となることがある。また、心無い一言がきっかけでいわゆる炎上状態に陥ることもある。

社会的な活動における議論は、様々な経済環境や生活環境によって構築された個々の意見や考え方を批判をせずどう歩み寄るべきかを探りながら、結果的に全体が前進できる道を切り開くところが重要と考える。今回は最近の主流でもある付箋コメント方式により個々の意見の傾向をグループ化しながら方向性を探り、突出した意見に対してもベクトルを与えることで共有する議論の方法を学んだ。

前出のRESASの解析や事業のプランニングにおいても、こういった議論の方法は多様な意見を集約する上で有効な手法と考える。憶測や思い込みではなく、現実的な意見や結果をもとに建設的な議論を進めるうえでファシリエーターとしての能力も身につけるよう努力したいと感じた。

政務活動費出金票

11

出金日	令和1年11月14日		
項目	研修費		
摘要	全国地方議会活性化シンポジウム（東京）		
金額	35,800 円		
支出内訳	視察・研修費 交通費 23,760円 宿泊費 12,040円 計 35,800円		
領収書	別紙		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成

承認	会派会長印	経理責任者印
		

令和元年11月15日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 しおかぜ

議員氏名 石崎 一成



以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	11月14日、11月15日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	シェラトン都ホテル東京
参加者名	石崎一成
目的	全国地方議会活性化シンポジウム
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、収支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

会派名

しおかぜ

金額 35,800 円

(1人あたり 35,800 円)

用務	全国地方議会活性化シンポジウム				
旅行先	東京都港区				
旅行期間	令和元年11月14日～令和元年11月15日(1泊 2日)				
種別	区間	乗車料金	急行料金	特別車料金	合計
鉄道賃	自 黒部宇奈月温泉駅 至 駅	6,050 円	円		円
	自 駅 至 東京駅	6,050 円	5,830 円		17,930 円
	自 東京駅 至 黒部宇奈月温泉駅	円	5,830 円		5,830 円
	自 駅 至 駅	円	円		円
	自 駅 至 駅	円	円		円
車賃	区間	借り上げ料金	燃料費	高速料金	合計
	自 至	円	円	円	円
宿泊料	1泊分				12,040 円
その他(駐車料金等)	(内訳)				円
備考					
合計	35,800 円				

旅行議員氏名 石崎 一成

承認印

会派会長	経理責任者
	

領 収 書 し あ か せ 様

Receipt

領取年月日 2019.11.14

金額 ¥17,930(消費税等込み)

上記金額確かに領取いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(2枚)

西日本旅客鉄道株式会社

黒部宇奈月温泉駅

黒部宇奈月F11発行 00287-01

印紙税申告納

付につき大淀

税務署承認済

領 収 書 し あ か せ 様

Receipt

領取年月日 2019.11.15

金額 ¥5,830

上記金額確かに領取いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(2枚)

東日本旅客鉄道株式会社

東京駅

東京駅 VF90 発行 30248-02

印紙税申告納

付につき渋谷

税務署承認済

ご請求明細書
STATEMENT

お名前 石崎一成

様

ユニゾイン八丁堀
UNIZO INN Hatchobori
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-4
3-20-4 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo
TEL:03-5566-3489 FAX:03-5566-3490

お部屋番号	805	ご人数	1		
ご到着	2019/11/14	ご出発	2019/11/15		1
日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考
11/14	クレジットカード	805	12,040		
	ご宿泊料金		11,940		
	宿泊税		100	*	

ご請求金額

0 (内 消費税: 1,085)

(内 宿泊税等: 100)

(会員番号: 残ポイント: 0)

発行番号 111403107100 P 1 1 3 A PA AL
19/11/14 21:54 T0598

ありがとうございました。

ごゆっくりお過ごし下さい。

ご署名

領 収 書 2019/11/14 111403107100

お名前 魚津市議会 しおかぜ 様

金額 ¥12,040-

但し ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

19.11.14

収入印紙

ユニゾイン八丁堀

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-4 TEL:03-5566-3489 FAX:03-5566-3490

研修報告書

提出者:石崎一成

総務省

地方議員活性化シンポジウム2019

基調講演:「地方議員の“なり手不足”と地方議会改革」

講 師 : 河村 和徳 (東北大学大学院情報科学研究所准教授)

地方議員のなり手不足はどこからきているのか?といった切り口から始まり、地方議会における国政政党の介入が小さな声を汲み上げない傾向をもたらし、見かけ上の機能停滞を助長しているのではないか?選挙にお金がかかり有能な人材が政治に関われない環境なのではないか?はたまた、社会保障や職業として明確な立場の保証のない点にも原因があるのではないか?といった、多面的な仮説から実際の事例などを踏まえて講演をいただいた。

パネルディスカッション

論点 1「多様ななり手の確保」

パネラー:南千春、吉田敬子、尾島勲、佐藤大吾(敬称略)

論点 2「住民に身近で頼られる議会の実現」

パネラー:ビアンキ・アンソニー、清水克士(敬称略)

各パネラーの実際に所属する議会での事例をもとに、人材確保のためにどのような変革がもたらされたかを紹介・討論された。また、市民との距離感を縮める改革や見える化、議論を高めるためのICTの活用についても紹介された。

考察

自らも会社役員という立場にあるときに議員となり、通常通りの会社の仕事を行いながら議員活動を行ってきた経緯がある。人脈や情報源という意味では優位な点はあるが、議員活動の部分や発言には苦慮するところが間違いないと思われる。また、専業として議員となった場合は社会保障制度が会社に勤める場合と大きく異なり、年金においては完全自己資金となる。また、一般的な職業記載欄においてもその他に丸を付ける機会が多く複雑な気持ちになったり、子供の保育所の申請用紙も同様である。しかし、志をもって議員となり、議会においては行財政改革や財政の効率化、コストダウンなどを議論することが多い中で自らの社会保障を訴えるというのは一定の矛盾を抱えることになるというのも事実であることから、2万人を超える他の議員諸氏も発言に至らないのではないかと考える。そういう点から考えると、国の制度としての地方議員の在り方は見直されていくべきであると感じる。ただし、腰掛的な人間が混じらない社会通念を築かなくてはいけない時代になってきたと感じた。今後、自分よりも若く有能な人材が生活の心配をすることなく社会に役立つまちの政治家を目指し専念できる環境づくりに微力ながら貢献していきたいと感じた。

後半のパネルディスカッションでは、議会の欠席に関する条項を明確にするように見直したこととで女性が参加しやすくなった事例や、勤務先の会社社長の寛大な対応でサラリーマンでありながら議員もこなせる環境を持つという事例も紹介された。これらは他人事ではなく私事として社会の在り方を議論できた例であり、議会の本当の姿の一端であると感じた。各々の自治体において個別に抱える課題や全国共通の課題であっても解決方法は全く違うということは想定範囲にとどめることが必要であり、いち自治体が主体となって物事を解決しなければいけないのだということを痛烈に感じた。

政務活動費出金票

12

出金日	令和1年11月30日		
項目	研修費		
摘要	シリウス、北方行進、日本橋とやま館（東京、大和市）		
金額	36,414 円		
支出内訳	視察・研修費 交通費（JR） 23,950円 交通費（JR、相鉄線） 964円 宿泊費 11,500円 計 36,414円		
領収書	別紙		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印
		

令和元年 12月 2日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 しおかぜ

議員氏名 浜田 泰友



以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	11月30日～12月1日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	神奈川県大和市 東京都千代田区、中央区
参加者名	浜田泰友
目的	大和市文化創造拠点シリウスの視察、 北方領土返還要求中央アピール行動の参加、 日本橋とやま館の視察のため
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、收支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

会派名

しおかぜ

金額

36,414 円

(1人あたり

36,414 円)

用務	大和市文化創造拠点シリウスの視察、北方領土返還要求中央アピール行動の参加、日本橋どやま館の視察のため				
旅行先	神奈川県大和市、東京都千代田区、中央区				
旅行期間	令和元年11月30日～令和元年12月1日(1泊 2日)				
種別	区間	乗車料金	急行料金	特別車料金	合計
鉄道賃	自 黒部宇奈月温泉駅 至 東京駅	6,050 円	円	6,030 円	12,080 円
	自 東京駅 至 黒部宇奈月温泉駅	6,050 円	円	5,820 円	11,870 円
	自 蒲田駅 至 横浜駅	440 円	円	円	440 円
	自 横浜駅 至 大和駅	524 円	(ICカード利用)	円	524 円
	自 駅 至 駅	円	円	円	円
車賃	区間	借り上げ料金	燃料費	高速料金	合計
車賃	自 至	円	円	円	円
宿泊料			1泊分		11,500 円
その他(駐車料金等)	(内訳)				円
備考	※1 私用のため、新幹線指定席は大宮から乗車 ※2 東京都区内切符利用のため、蒲田(都区内)から横浜までの料金				
合計					36,414 円

旅行議員氏名 浜田 泰友

承認印	
会派会長	経理責任者

領 収 証

No. 24842

し め か せ 殿

2019年12月19日

¥ 35,450-

(税込)

但し 1/30 ~ JR 富山駅付近

上記の金額正に領収致しました

取 入
印 紙

新 ニューファーミー ファーミー ブル

日本 社 富山市東山新町8番1号(ボルファートとやま)
TEL (076) 431-2000 FAX (076) 431-2735

□ ファーミー店

□ 名古屋支店

□ 高岡大和店

□ 金沢営業所

係 員

支 払 証 明 書

金 964 円

上記の金額を支払ったので届け出ます。

令和元年 12月2日

会派名 しおかぜ

氏名 浜田 泰友



支払先	J R、相模鉄道
領収書が発行されない理由	視察先への移動で J R 蒲田駅（都区内切符利用、乗車は東京駅）から横浜駅、相鉄本線横浜駅から大和駅（IC カード）まで往復利用したため。 運賃（220円+262円）×2（往復分） = 964 円

上記のとおり相違ないことを証明します。

経理責任者氏名 石崎 一成



937-0857
富山県魚津市三ヶ1228

No. 00473303-02
DATE: 2019年12月11日
PAGE: 1

しあわせ
濱田 泰友 様

観光庁長官登録旅行業 第818号
株ニュージャパントラベル
本社
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ボルファートとやま
TEL:076-441-2000 FAX:076-431-2735

御請求書

この度は弊社を御利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願ひ致します。

□ 出発日	2019年11月30日 (土)	(A00005)
□ 明細		
宿泊代 ルツイン新橋烏森口	(¥11,500 X 1)	¥11,500
J.R券代 黒部宇奈月温泉⇒東京 / 大宮 ⇒ 黒部宇奈月	(¥23,950 X 1)	¥23,950

ご請求額	¥35,450
ご入金額	¥0
今回ご請求額	¥35,450
担当者	[REDACTED]

□ 振込先:

視察・研修報告書

日 時： 令和元年 11月 30 日（土）～12月 1 日（日） 2 日間
視察先： 大和市文化創造拠点シリウスの視察（神奈川県大和市）
北方領土返還要求中央アピール行動の参加（東京都千代田区）
日本橋とやま館の視察（東京都中央区）
参加者： 浦崎将隆、関口雅治、石倉彰、金川敏子、水田万輝子（自民党議員会）
浜田泰友（しおかぜ）
計 6名
報告者： 浜田泰友

1. 大和市文化創造拠点シリウスの視察（神奈川県大和市）

大和市の人口は2.3万人だが、圏域人口は数百万人。大和市のシリウスは図書館などを中心とした文化交流拠点として整備。総工費 213億円。
1階はホールやアトリエ、喫茶店、1・2階に交流スペース、3階は子ども用エリアとしてこども図書館、こども広場。室内で体を動かせるスペースがあり、一部有料。
4・5階は図書館、6階は生涯学習エリアぷらっと大和とフリースペースがあり、各種団体が集う。休みの日は満席になる。

2. 北方領土返還要求中央アピール行動の参加（東京都千代田区）

出発式の後、日比谷公園から鍛冶橋交差点まで行進した。
昨年は平和条約締結に向けて期待が高まっていたこともあり、「北方領土を返せ」というフレーズを使わずにシュプレヒコールをあげていたが、今年は交渉が進んでいない状況であるため、再び「北方領土を返せ」のコールをあげた。

3. 日本橋とやま館の視察（東京都中央区）

日本橋とやま館は開館3年半となり、本年は来館者100万人を越えることができた。外国人向けコンシェルジュを置き、外国人対応も行っている。工芸品が半分と多くなり、月1回クリエイターズトークを行っている。9月には建築家の隈研吾氏が出演した。土日は800～1000人の来館者がある。ショップの商品選定会議は年3回。八村塁、朝乃山など県ゆかりの人物が活躍すると、それ目当ての方が来るようになるので、今年は急遽そのための展示を行った。

4. 考察

大和市のシリウスは黒部市議会と合同で視察を行った。先日TRCセミナーで講師の南先生が参考になる事例としてシリウスを挙げていたが、実際に訪れてみると、快適な滞在ができる空間を意識して作られているように感じた。これだけ多くの来館者でぎわうしくみは施設そのものだけではなく、運営している事業者の工夫もある。また、都市部であり、利用者の多くが公共交通を利用することが想定されることから、駅からの動線には広場とそれを囲む商店があり、休日はその広場を使ったイベントができるようになっていた。まちづくりと公共施設がリンクしている事例と思う。魚津市において、公共施設再編を考える中で、機能集約を進めて、にぎわいを創出できるようにしなければならない。にぎわいを作らなければ、民間の参入意欲もわいてこない。規模が大きいため、そのまま参考にはできないが、取組みは大いに学ぶべきと思う。

北方領土問題は、北方領土からの引揚者が北海道に次いで多い富山県において、ふるさとの問題として取り組まなくてはならない。特に黒部を中心として、県東部に多くの連携しての取組みが求められる。今年も黒部市議会からの呼びかけがあり、この参加することになったが、議員連盟などの組織化も検討の余地があると考える。このアピール行進も実施されていること自体あまり知られていないようだ。

日本橋とやま館での来館者は順調に推移しているようで、以前実施した魚津の加積りんごフェアは好評を博したと聞いた。中板橋のうおづやが閉店するニュースがあり、首都圏でのプロモーションは道半ばではあるが、日本橋とやま館などの施設をうまく使い、効果的な自治体宣伝につなげてほしい。

